



すべての人が  
子育てを楽しいと思える社会をつくる



2025年2月期決算説明資料

2025年4月22日



## 2025年2月期

1. 決算ハイライト及びトピック
2. 単体業績及び事業概況

## 2026年2月期

3. 連結業績予想



## 2025年2月期

1. 決算ハイライト及びトピック
2. 単体業績及び事業概況

## 2026年2月期

3. 連結業績予想

- 売上収益は主事業である紙おむつ等サブスクリプションサービスの契約保護者数が前期末+32,129名の増加に伴い、売上高も前年比+71.5%と増加しております。
- 営業利益は紙おむつ等サブスクリプションサービスの営業拡大等に伴い、人材等への投資を実施した結果、129百万円の黒字となりました。
- 営業外費用としてTOKYO PRO Marketへの上場関連費用を計上したものの、税効果を考慮した結果、当期純利益は149百万円となっております。

## 財務サマリー

売上高

**2,833**百万円  
(前期比+71.5%)

営業利益

**129**百万円  
(前期実績△113百万円)

当期純利益

**149**百万円  
(前期実績△146百万円)

## KPIサマリー

紙おむつサブスク  
契約保護者数

**89,125**名  
(前期比+56.3%)

紙おむつサブスク  
契約施設数

**7,100**施設  
(前期比+40.8%)

## 『保育の質の向上』と『競合他社サービスとの差別化』を図る

当社は保育士の負担を軽減し、保育士が子どもと向き合う時間をより増やし、保育の質を向上させるとともに、保護者にとっても安心して子どもを預けられる環境を提供するべく、ユニ・チャーム株式会社と協働し、2024年8月より手ぶら登園専用おむつの提供を開始しました。

### 【パッケージ】 紙おむつの発注や管理がしやすい

Before



どのサイズも同じ色・柄で  
サイズの判別がしづらい

After



サイズごとに色を変え、  
パックには大きく表記することで  
一目で見分けがつくように

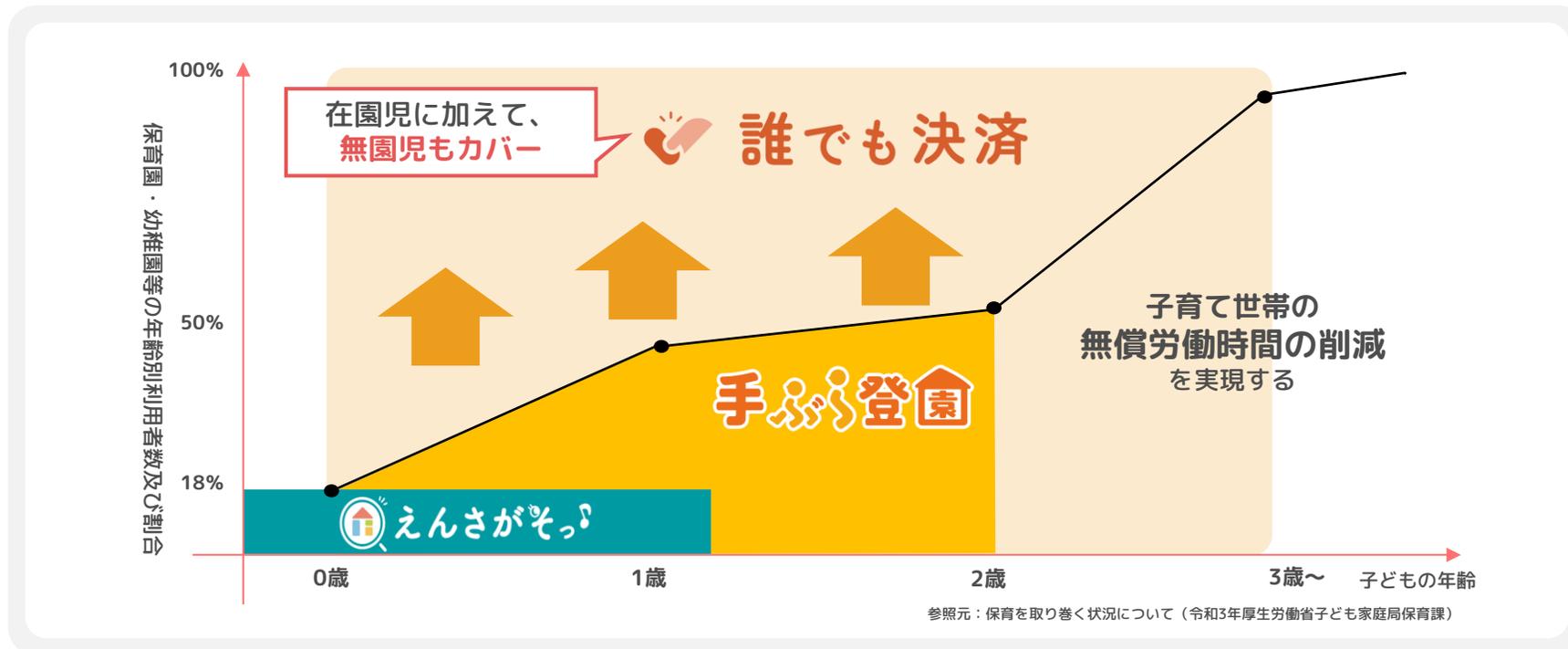
### 【デザイン】 おむつ交換がスムーズに行える

一目でおむつのサイズが分かる



## 『保育士と保護者の負担軽減』と『LTVの拡張』を図る

当社は保育施設における現金のやり取りを不要にし、保育士や保護者の負担を軽減することを目的に保育施設向けキャッシュレスサービス「誰でも決済」のサービスを開始いたしました。  
在園児だけでなく、国が進める異次元の少子化対策の目玉である「こども誰でも通園制度」への対応もできることや当社が提供するプロダクトとの掛け合わせで子育て全体の課題解決を目指します。



## 『保育の質向上』を図る

当社の保育業界におけるノウハウを活用した新たな事業である保育施設における福祉サービス第三者評価事業の開始と、本事業を行うための子会社である「保育第三者評価株式会社」を2025年1月に設立いたしました。

出生人口の減少が進む中、政府は2023年4月に「こども家庭庁」の設置をはじめとして、子育て環境の整備に向けた施策を推進しており、保育施設の利用率は54.1% \*と増加が続いております。

そのような環境の中、保育施設の第三者評価の充実により、保育の質向上を図る事を実現したいと考え、子会社では保育施設における福祉サービス第三者評価事業に取り組みます。



\*出所：こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ（令和6年4月1日）」



## 2025年2月期

1. 決算ハイライト及びトピック
2. 単体業績及び事業概況

## 2026年2月期

3. 連結業績予想

# 損益計算書

- 当社の主要事業である紙おむつ等サブスクリプションサービスの事業拡大に伴い、売上高は前期比+71.5%となりました。
- 営業利益は紙おむつ等サブスクリプションサービスの営業拡大等に伴う人材等への投資を実施した結果、129百万円の黒字となりました。
- 営業外費用としてTOKYO PRO Marketへの上場関連費用を計上したものの、税効果を考慮した結果、当期純利益は149百万円となっております。

(百万円)	2024/2月期 実績	2025/2月期 実績	前期 増減率	2025/2月期 修正予想	修正 予想比
売上高	1,652	2,833	171.5%	2,834	100.0%
売上総利益	599	1,014	169.3%	995	101.9%
売上総利益率	36.3%	35.8%	△0.5Pt	35.1%	+0.7Pt
営業利益	△113	129	-	103	125.2%
営業利益率	-	4.6%	-	3.6%	+0.9Pt
経常利益	△117	117	-	91	128.6%
当期純利益	△146	149	-	133	112.0%
当期純利益率	-	5.3%	-	4.7%	+0.6Pt

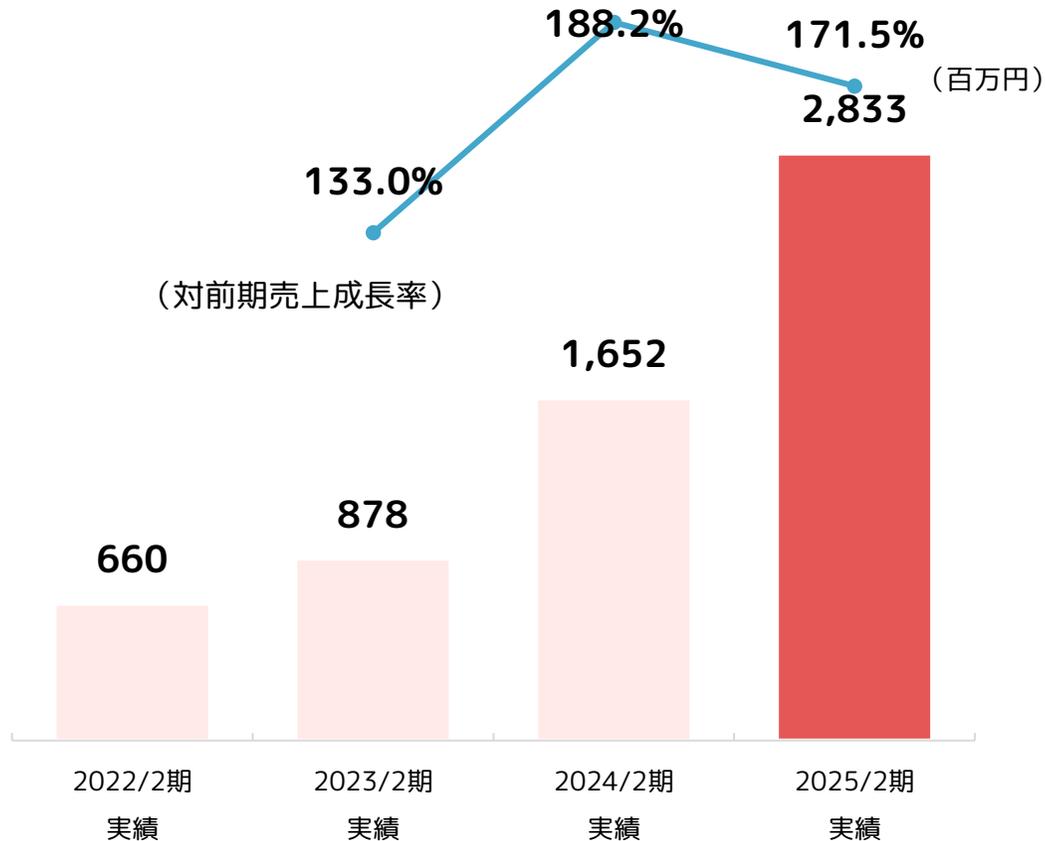
# 修正予算比較

- 修正予算に対する売上総利益の増加については、売上原価の月ズレ及び前年営業日数との差異により、売上総利益が修正予想+19百万円となったものであります。
- 修正予算に対する営業利益の増加については、販売管理費の内、販売促進費及び支払手数料の減少により、営業利益が修正予想+26百万円となったものであります。

(百万円)	2024/2月期 実績	2025/2月期 実績	前期 増減率	2025/2月期 修正予想	修正 予想比
売上高	1,652	2,833	171.5%	2,834	100.0%
売上総利益	599	1,014	169.3%	995	101.9%
売上総利益率	36.3%	35.8%	$\Delta 0.5Pt$	35.1%	+0.7Pt
営業利益	$\Delta 113$	129	-	103	125.2%
営業利益率	-	4.6%	-	3.6%	+0.9Pt
経常利益	$\Delta 117$	117	-	91	128.6%
当期純利益	$\Delta 146$	149	-	133	112.0%
当期純利益率	-	5.3%	-	4.7%	+0.6Pt

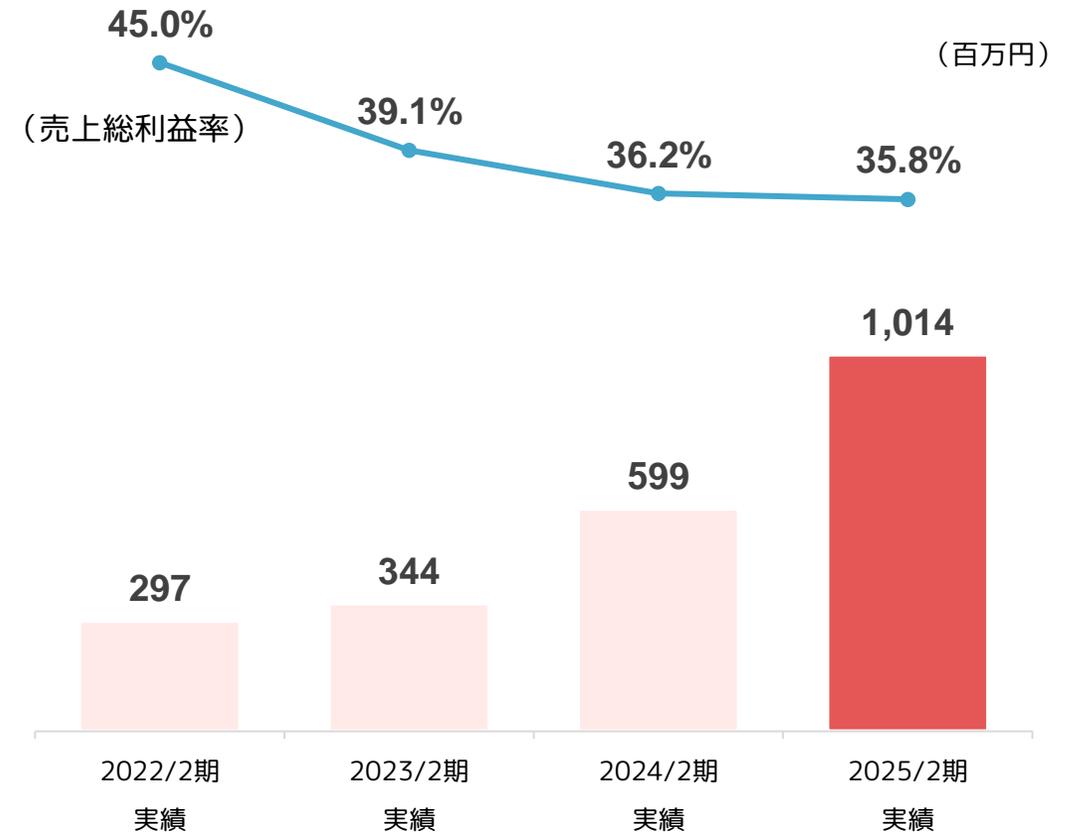
## 売上高の推移

紙おむつ等サブスクリプションサービスの利用者数の増加に伴い、売上高は増加となり、高い成長率を維持しております。



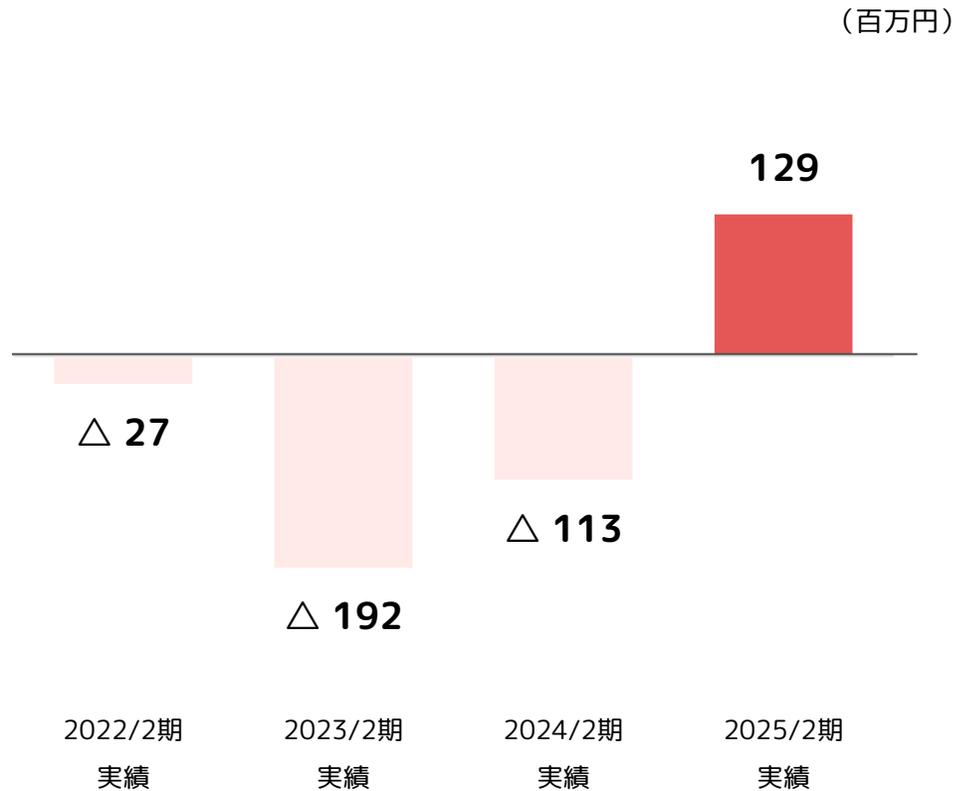
## 売上総利益の推移

紙おむつ等サブスクリプションサービスの利用者数の増加に伴う売上高の増加により、売上総利益も増加しております。



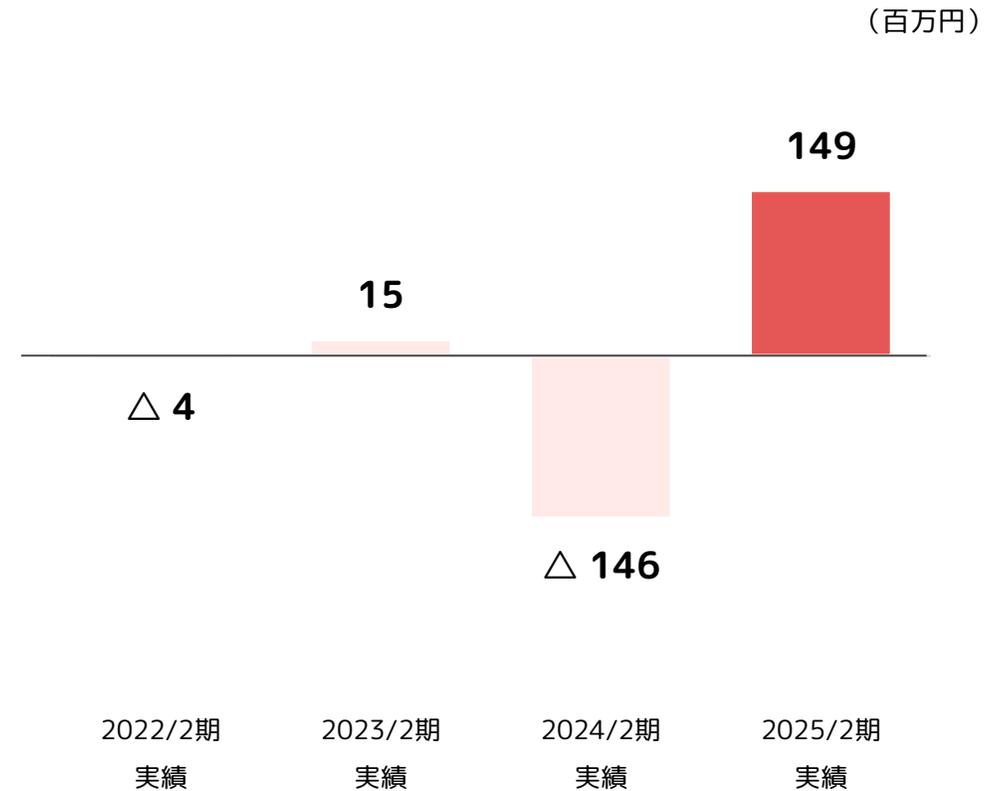
## 営業利益の推移

営業利益は紙おむつ等サブスクリプションサービスの営業活動の拡大等に伴い、人材等への投資を実施した結果、**129百万円の黒字**となりました。



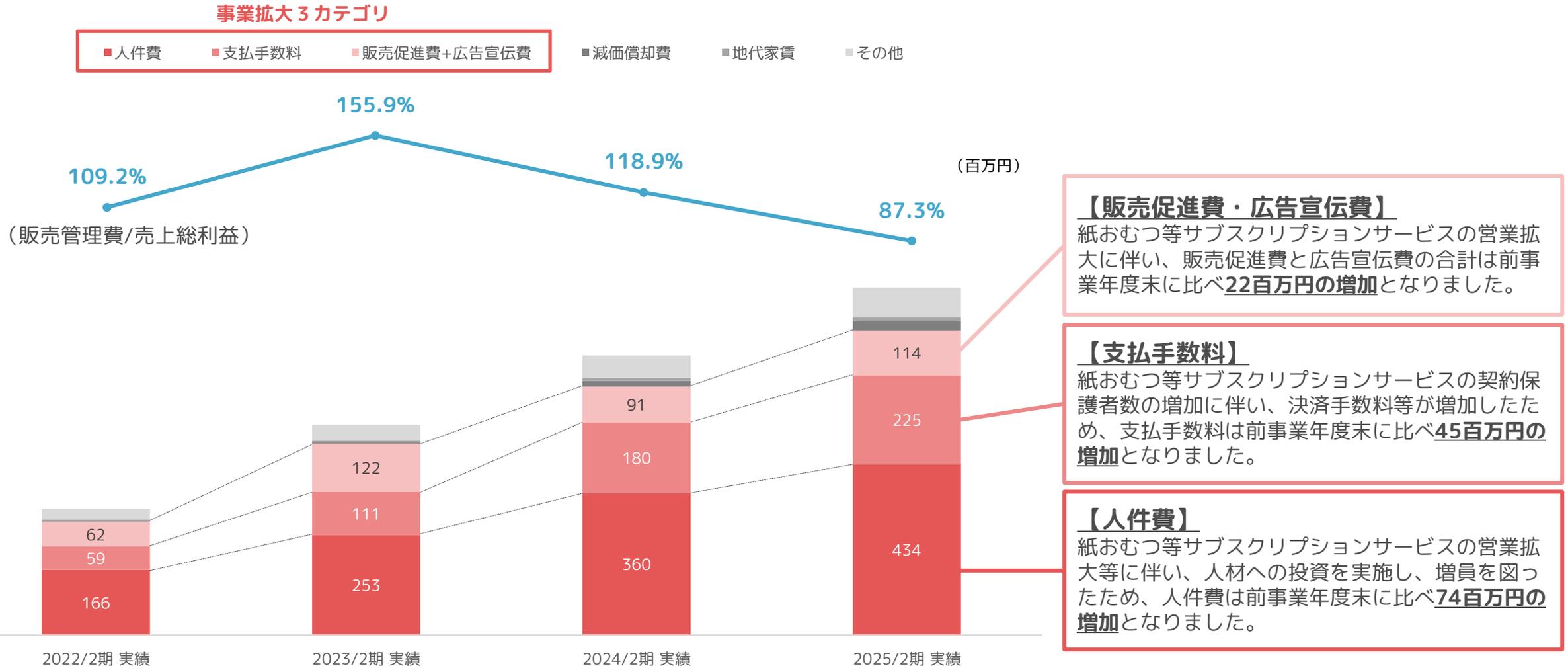
## 当期純利益の推移

営業外費用としてTOKYO PRO Marketへの上場関連費用を計上したものの、税効果を考慮した結果、当期純利益は**149百万円**となっております。



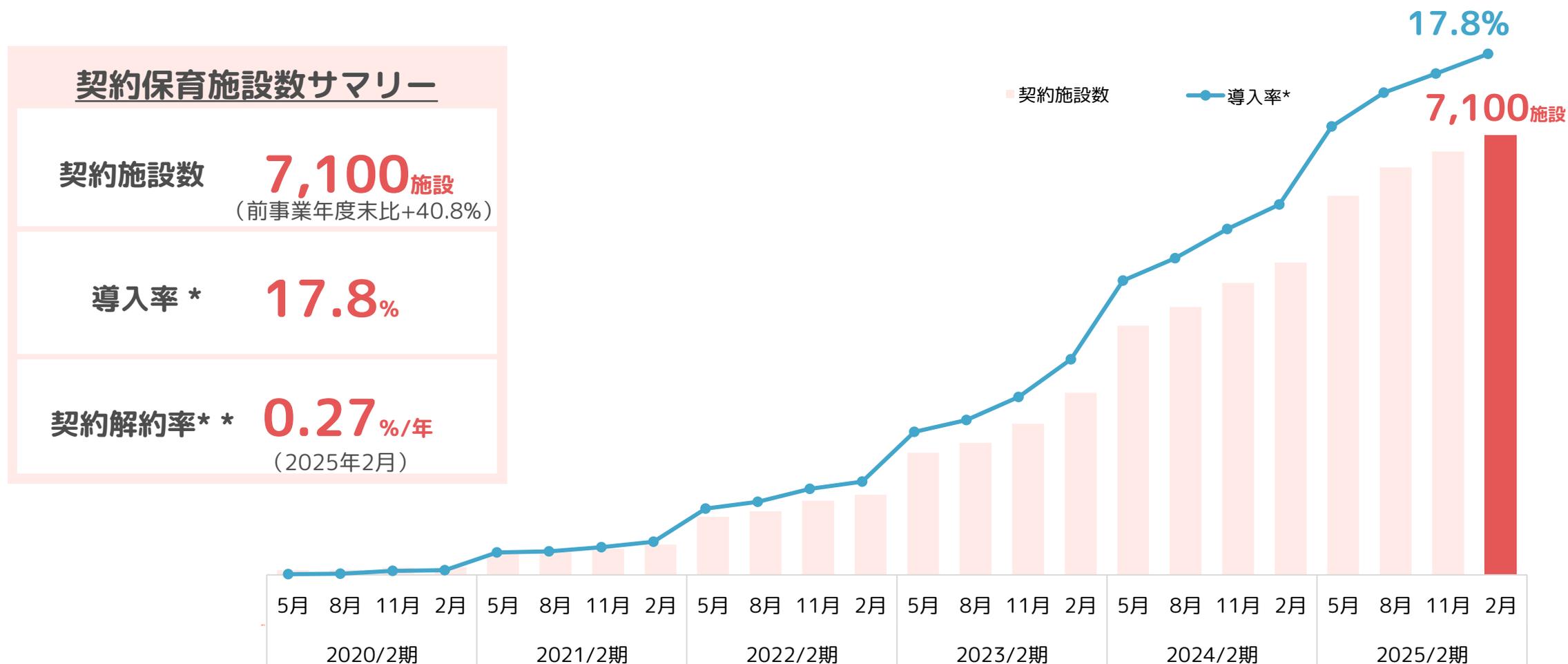
# 販売管理費の変動要因

- 紙おむつ等サブスクリプションサービスの事業拡大に伴う、売上高の増加に対し、コスト増分は抑制され、販管費率は低下しております。前期売上成長率+71.5%に対し、事業拡大3カテゴリにおける前期増加率+22.6%であります。



# 紙おむつサブスクの契約施設数の四半期推移

- 紙おむつ等サブスクリプションサービスの営業活動の拡大等により、契約施設数は前事業年度末より2,059施設の増加となりました。



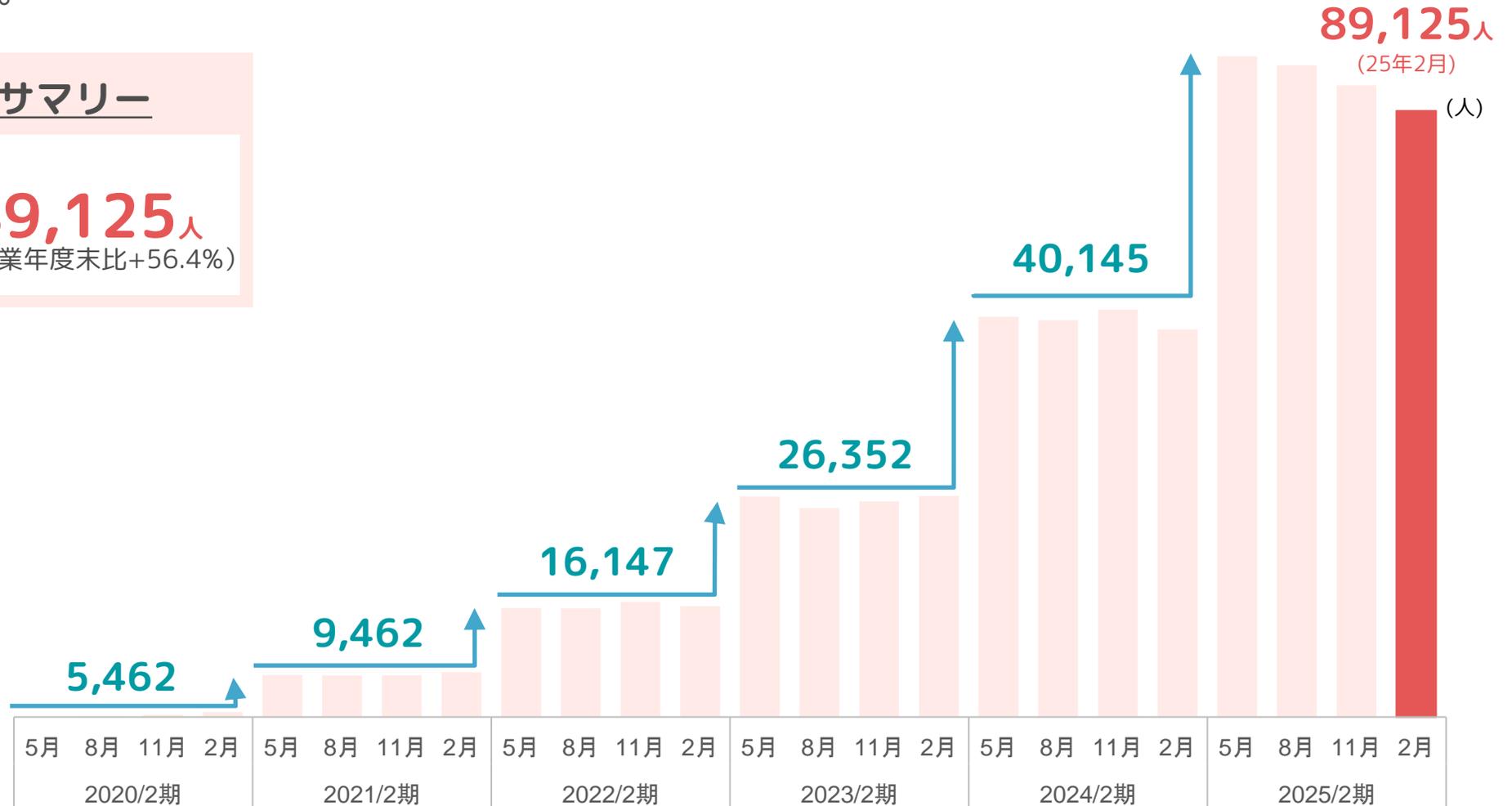
\* 導入率：紙おむつサブスク導入認可保育施設数(特定地域保育型事業、幼稚園型認定こども園等、幼保連携型認定こども園及び保育所)(2024年8月末時点)の厚生労働省が公表している認可保育施設数に対する割合として算出。  
 \*\* 契約解約率：12か月移動累計での解約件数/各月初の契約保育施設数

# 紙おむつ等サブスクの契約保護者数の四半期推移

- 紙おむつ等サブスクリプションサービスの契約保護者数の増加は保育施設の入園時期（毎年4月～5月）に大きく増加をする傾向であります。
- 契約保育施設数の増加に伴い、保護者への訴求浸透も高まるため、契約保育施設数と同様に契約保護者の増加スピードは年々加速しております。

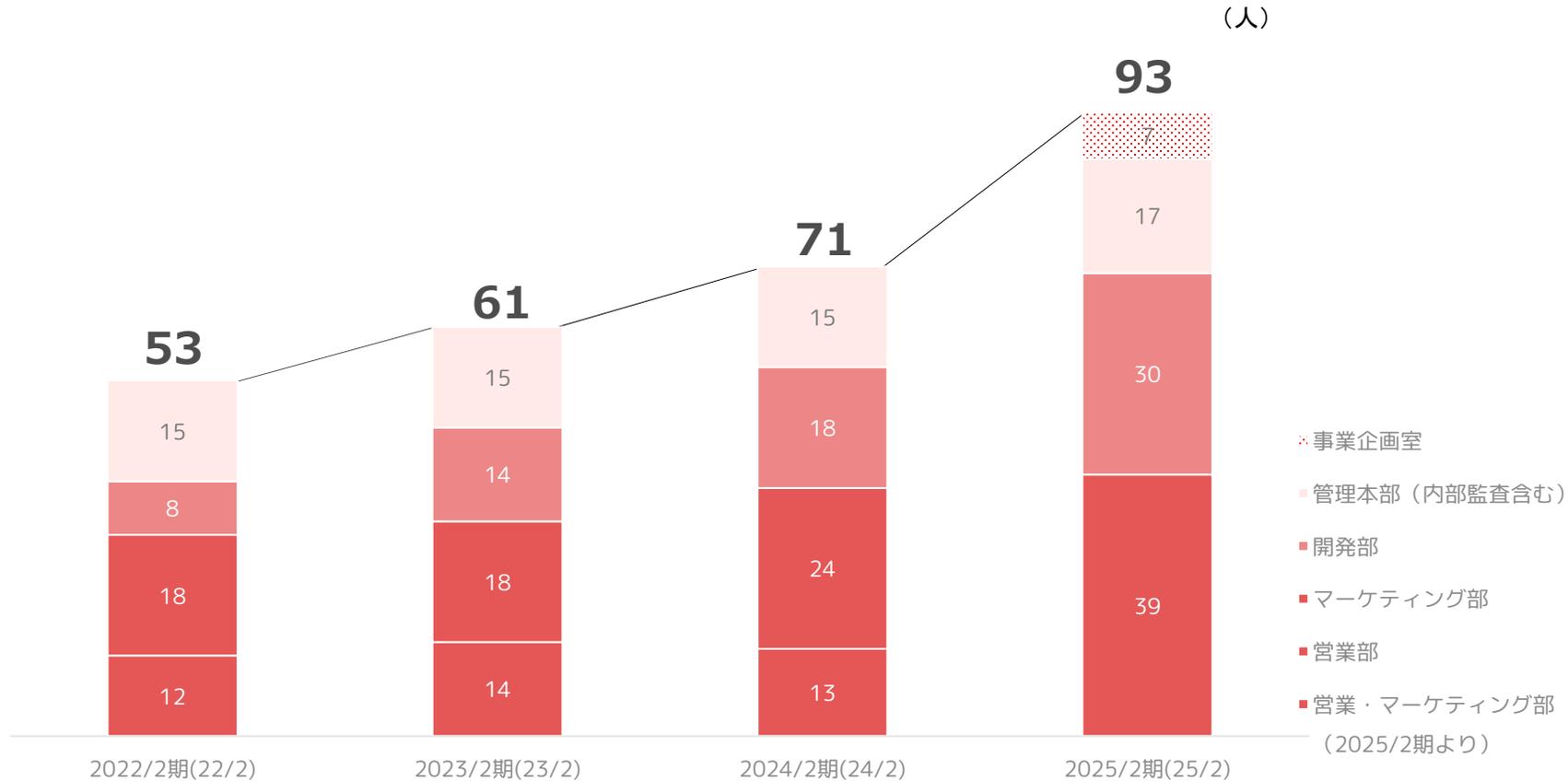
## 契約保護者数サマリー

契約保護者数 **89,125人**  
(前事業年度末比+56.4%)



# 人員の推移

- 紙おむつ等サブスクリプションサービスの事業成長及び新規事業開発・促進を踏まえた積極的な人的投資をしたため、人員は前期末比+22名となりました。



※上記人員数は取締役を除き、正社員・アルバイト・パートの休職者を含む人員数となります。22/2の管理本部人員には当時の子会社の人員も含んでおります。

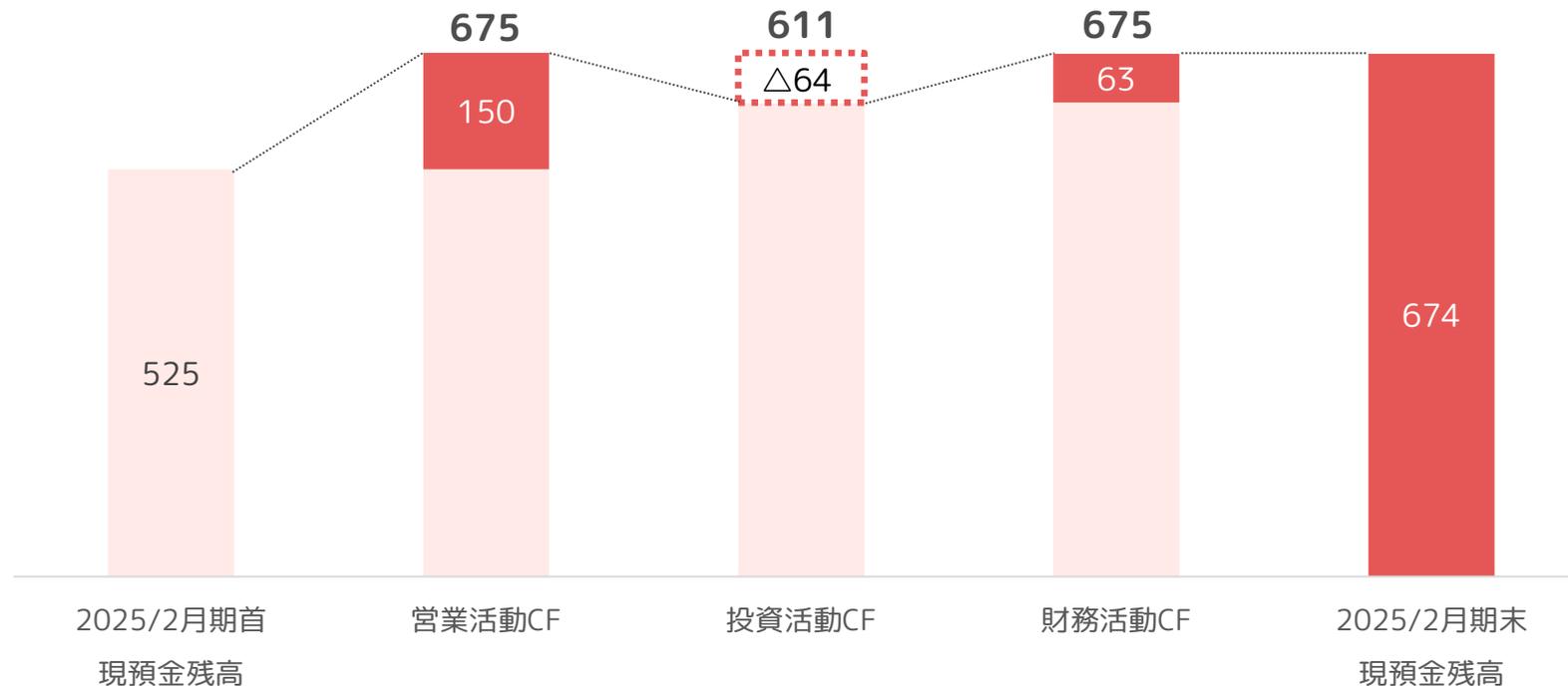
# 貸借対照表

- 資産合計の増加要因は、現金及び預金が149百万円の増加及び売上高の増加に伴い売掛金が106百万円増加したこと等によるものであります。
- 負債合計の増加要因は、長期借入金（一年内返済予定の長期借入金含む）が78百万円の増加及び仕入高の増加に伴い買掛金が47百万円増加したこと等によるものであります。
- 純資産合計の増加要因は、当期純利益を計上したことに伴い利益剰余金が149百万円増加したことによるものであります。

	2024/2月 期末時点	2025/2月 期末時点	増減		2024/2月 期末時点	2025/2月 期末時点	増減
(単位：百万円)				(単位：百万円)			
現金及び預金	525	674	149	仕入債務	98	146	47
売上債権	160	266	106	短期借入金	129	133	4
その他	7	24	16	その他	99	173	73
<b>流動資産 計</b>	<b>693</b>	<b>965</b>	<b>272</b>	<b>流動負債 計</b>	<b>327</b>	<b>453</b>	<b>126</b>
有形固定資産	5	10	4	長期借入金	134	208	73
無形固定資産	75	105	29	その他	2	6	3
その他	22	69	46	<b>固定負債 計</b>	<b>136</b>	<b>214</b>	<b>77</b>
<b>固定資産 計</b>	<b>103</b>	<b>185</b>	<b>81</b>	<b>純資産 計</b>	<b>332</b>	<b>482</b>	<b>149</b>
<b>資産 合計</b>	<b>797</b>	<b>1,150</b>	<b>353</b>	<b>負債及び資本 合計</b>	<b>797</b>	<b>1,150</b>	<b>353</b>

# 現預金残高推移

- 営業活動CFは、150百万円の収入（前事業年度は130百万円の支出）となり、その主な要因は、売上高増加に伴う税引前当期純利益の計上123百万円によるものであります。
- 投資活動CFは、64百万円の支出（前事業年度は49百万円の支出）となり、その主な要因は、ソフトウェア開発に関わる無形固定資産の取得による支出53百万円によるものであります。
- 財務活動CFは、63百万円の収入（前事業年度は122百万円の支出）となり、その主な要因は、長期借入金の借入による収入240百万円及び長期借入金の返済による支出161百万円によるものであります。
- 上記の結果、当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末より149百万円増加し、674百万円となりました。





## 2025年2月期

1. 決算ハイライト及びトピック
2. 単体業績及び事業概況

## 2026年2月期

3. 連結業績予想

# 2026年2月期 連結業績予想

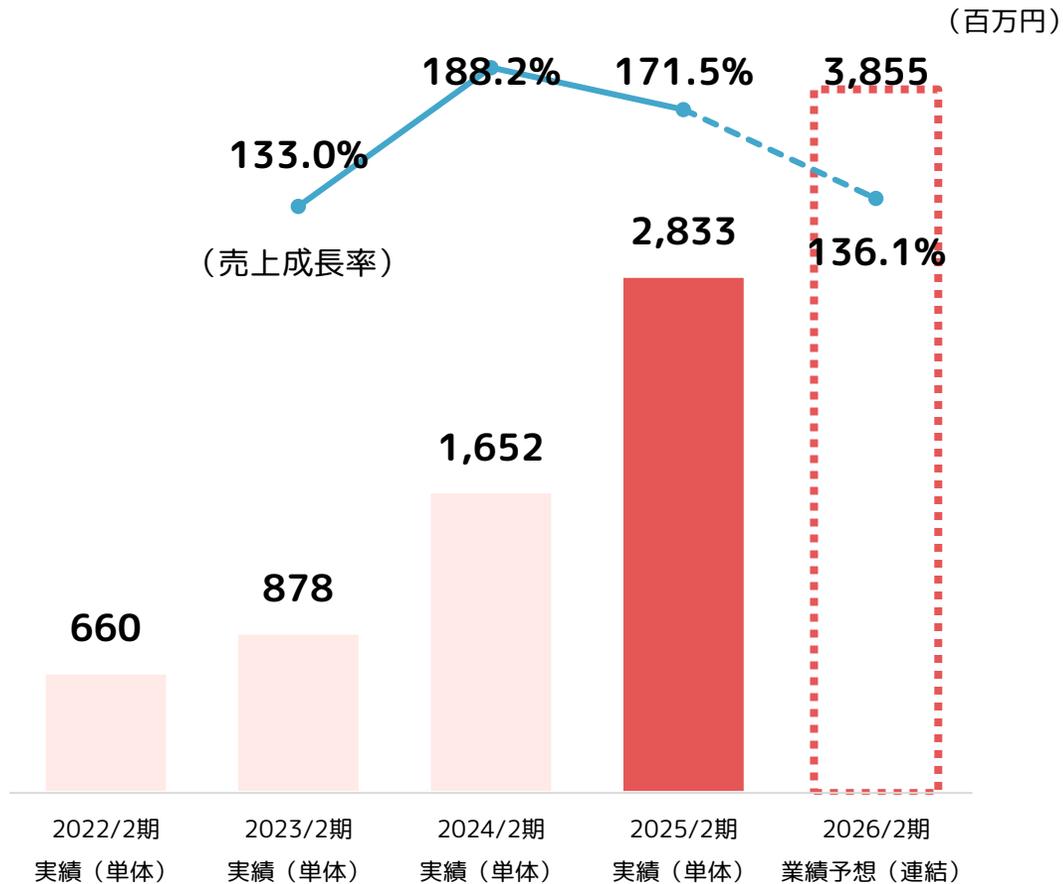
- 当社の主要事業である紙おむつ等サブスクリプションサービスの事業拡大に伴い、売上高は3,855百万円となる予想であります。
- 『誰でも決済』等の新規事業を中心とした事業成長のための人材等への投資を想定しているため、営業利益は81百万円、経常利益は79百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は44百万円を見込んでおります。

(百万円)	2025/2月期 実績 (単体)	2026/2月期 業績予想 (連結)	前期 増減率
売上高	2,833	3,855	-
売上総利益	1,014	1,285	-
売上総利益率	35.8%	33.3%	-
営業利益	129	81	-
営業利益率	4.6%	2.1%	-
経常利益	117	79	-
親会社の株主に帰属する当期純利益	149	44	-
当期純利益率	5.3%	1.1%	-

※当社は、2026年2月期より連結決算に移行するため、対前期増減率は記載しておりません。

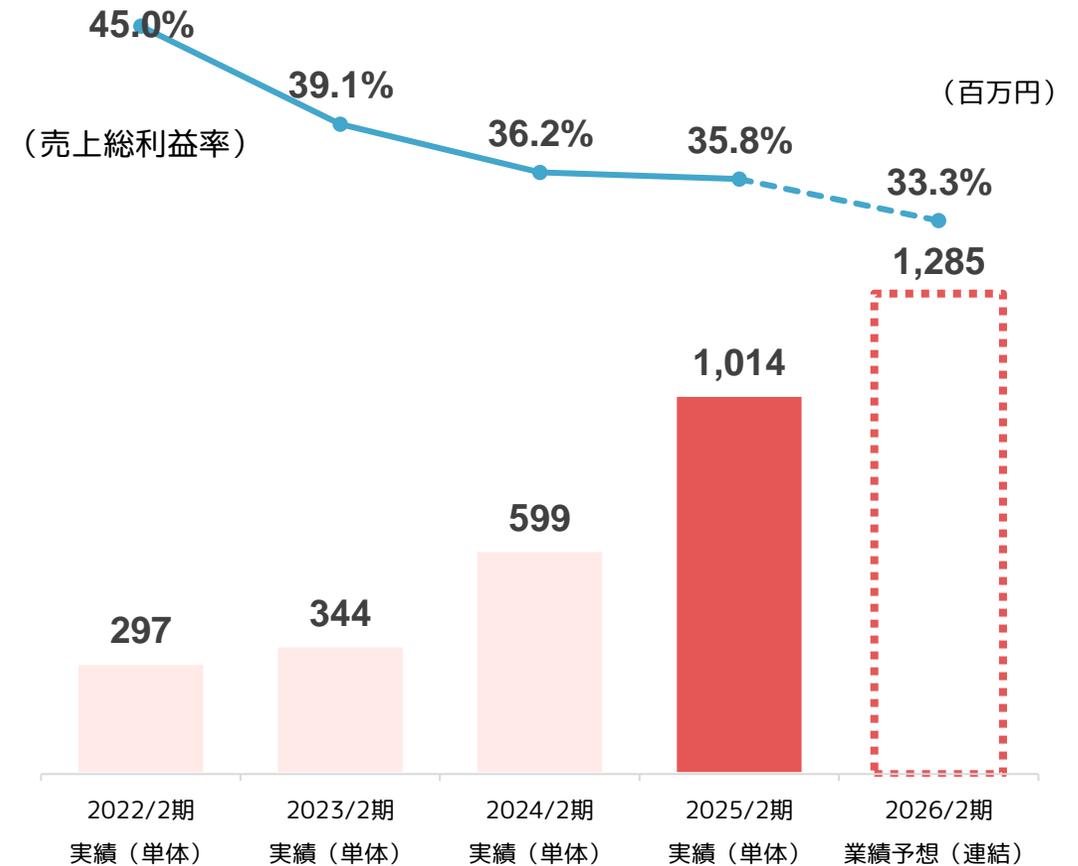
## 売上高の推移

紙おむつ等サブスクリプションサービスの利用者数の増加に伴い、売上高も増加を想定しております。



## 売上総利益の推移

紙おむつ等サブスクリプションサービスの利用者数の増加に伴う売上高の増加により、売上総利益の増加を想定しております。

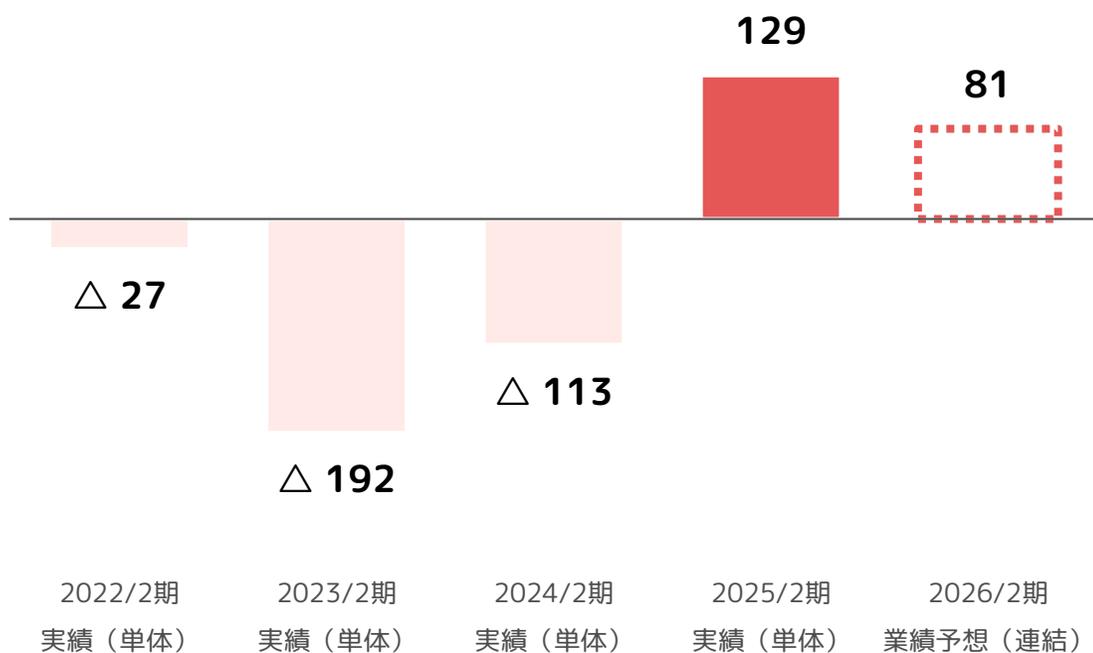


※当社は、2026年2月期より連結決算に移行いたしますが、連結と単体の差は軽微のため、両者を比較しております。

## 営業利益の推移

営業利益は紙おむつ等サブスクリプションサービスの営業拡大や『誰でも決済』等の新規事業を中心とした事業成長のための人材等への投資を想定しているため、営業利益は81百万円を想定しております。

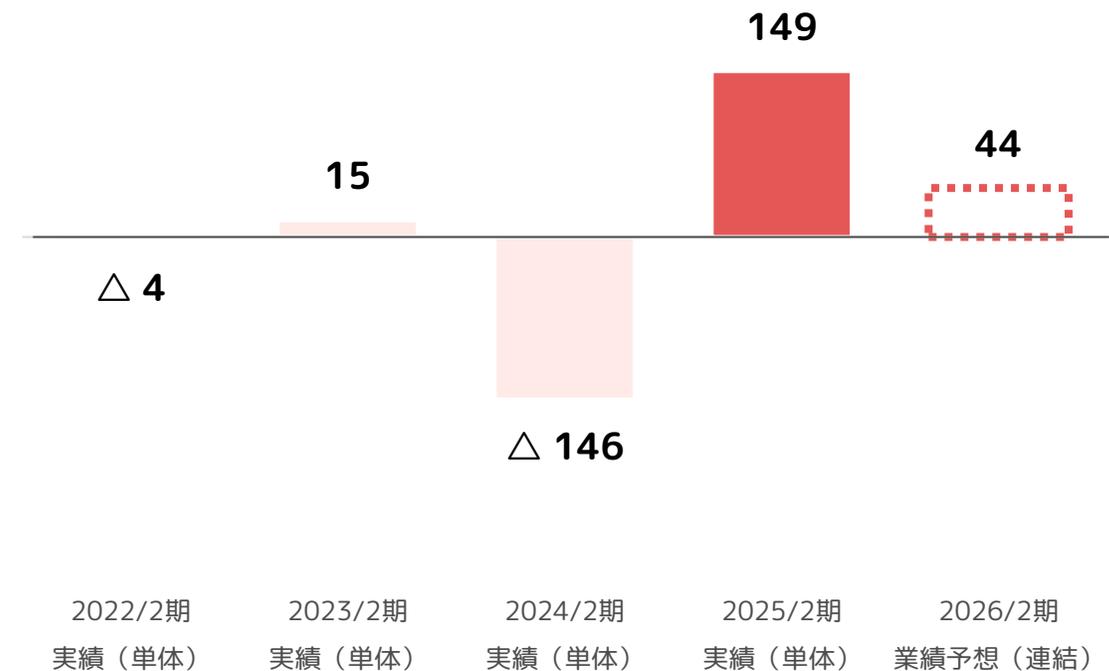
(百万円)



## 当期純利益の推移

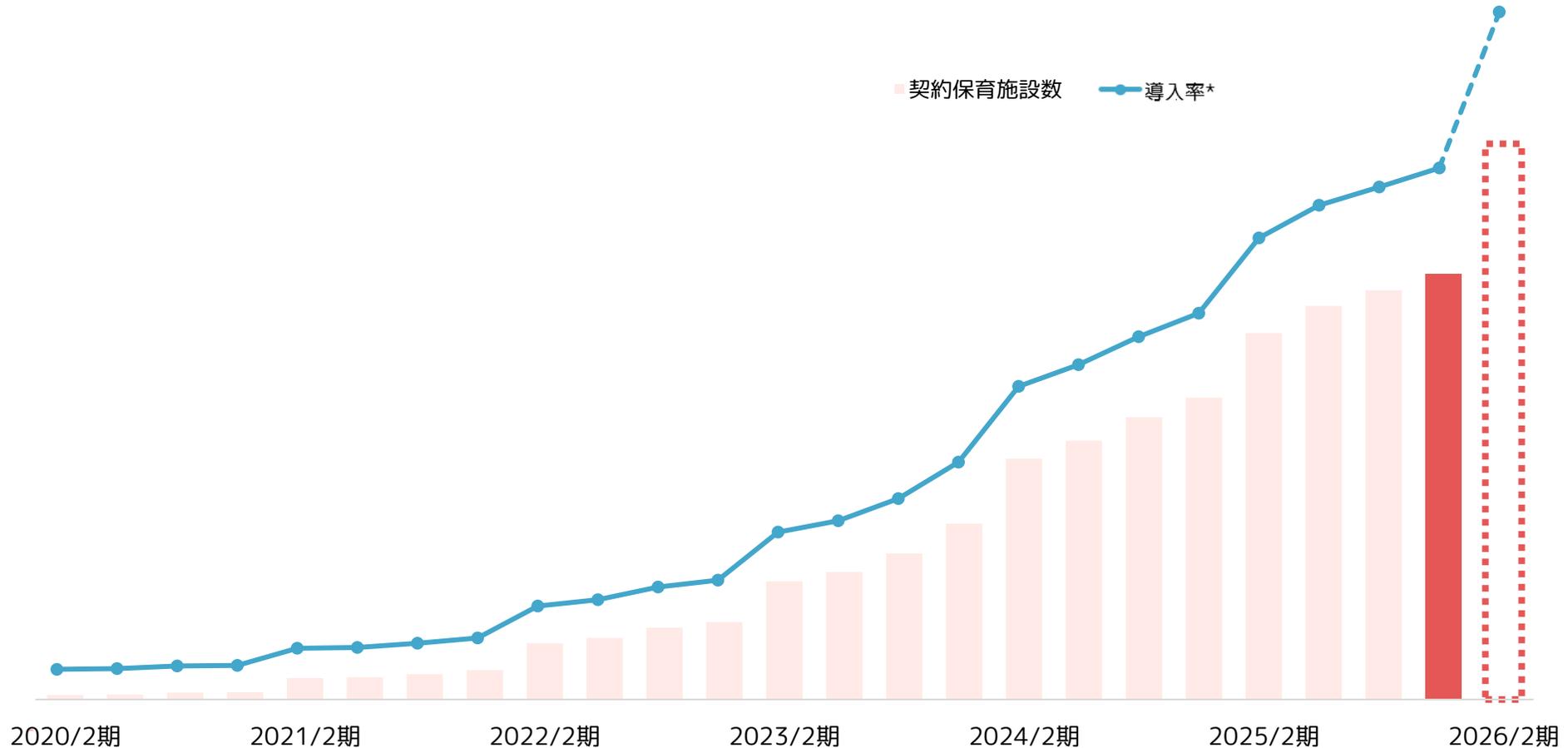
繰越欠損金が解消されるため法人税が発生する見込みであり、当期純利益は66百万円を想定しております。

(百万円)



# トピック①紙おむつサブスク-契約保育施設数の成長予想

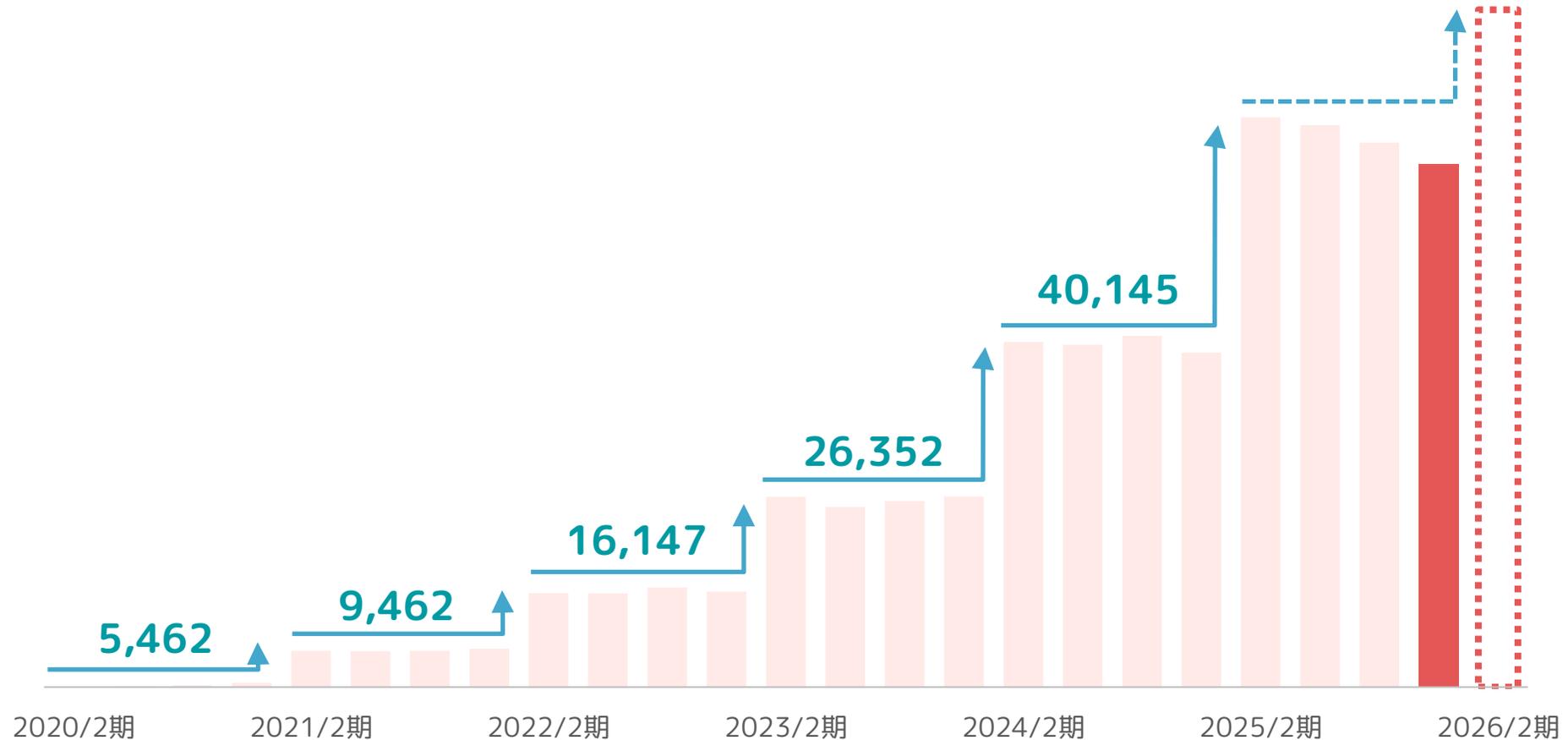
- 紙おむつ等サブスクリプションサービスの営業活動の拡大等により、契約保育施設数は増加を見込んでおります。



\* 導入率：紙おむつサブスク導入認可保育施設数(特定地域保育型事業、幼稚園型認定こども園等、幼保連携型認定こども園及び保育所)(2024年8月末時点)の厚生労働省が公表している認可保育施設数に対する割合として算出。

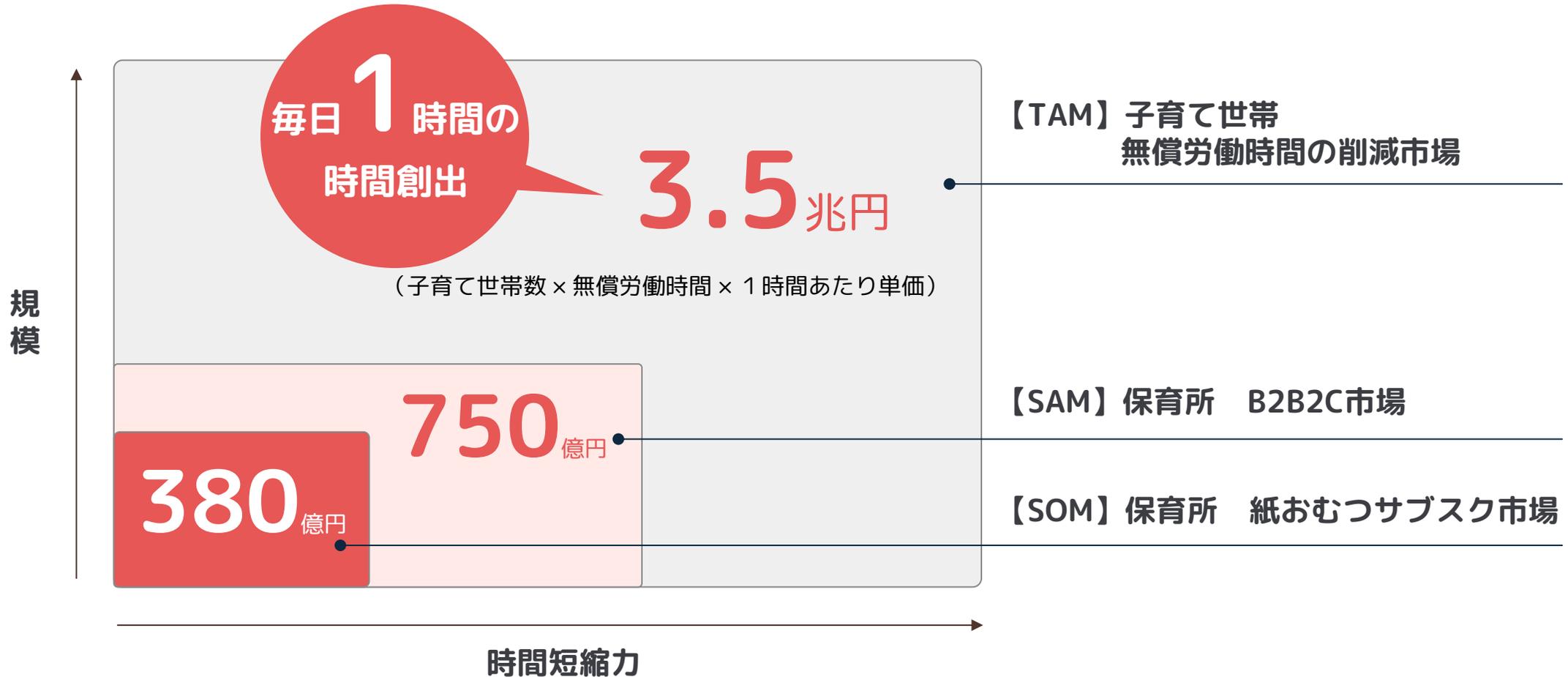
# トピック①紙おむつサブスク-契約保護者数の成長予想

- 契約保育施設数の増加に伴い、保護者への訴求浸透も高まるため、契約保育施設数と同様に増加スピードは年々加速を想定し、契約保護者数は増加を見込んでおります。



\*契約保護者数は特定証券情報ではサービス利用保護者数と記載

## TAM/SAM/SOMに関する考え方



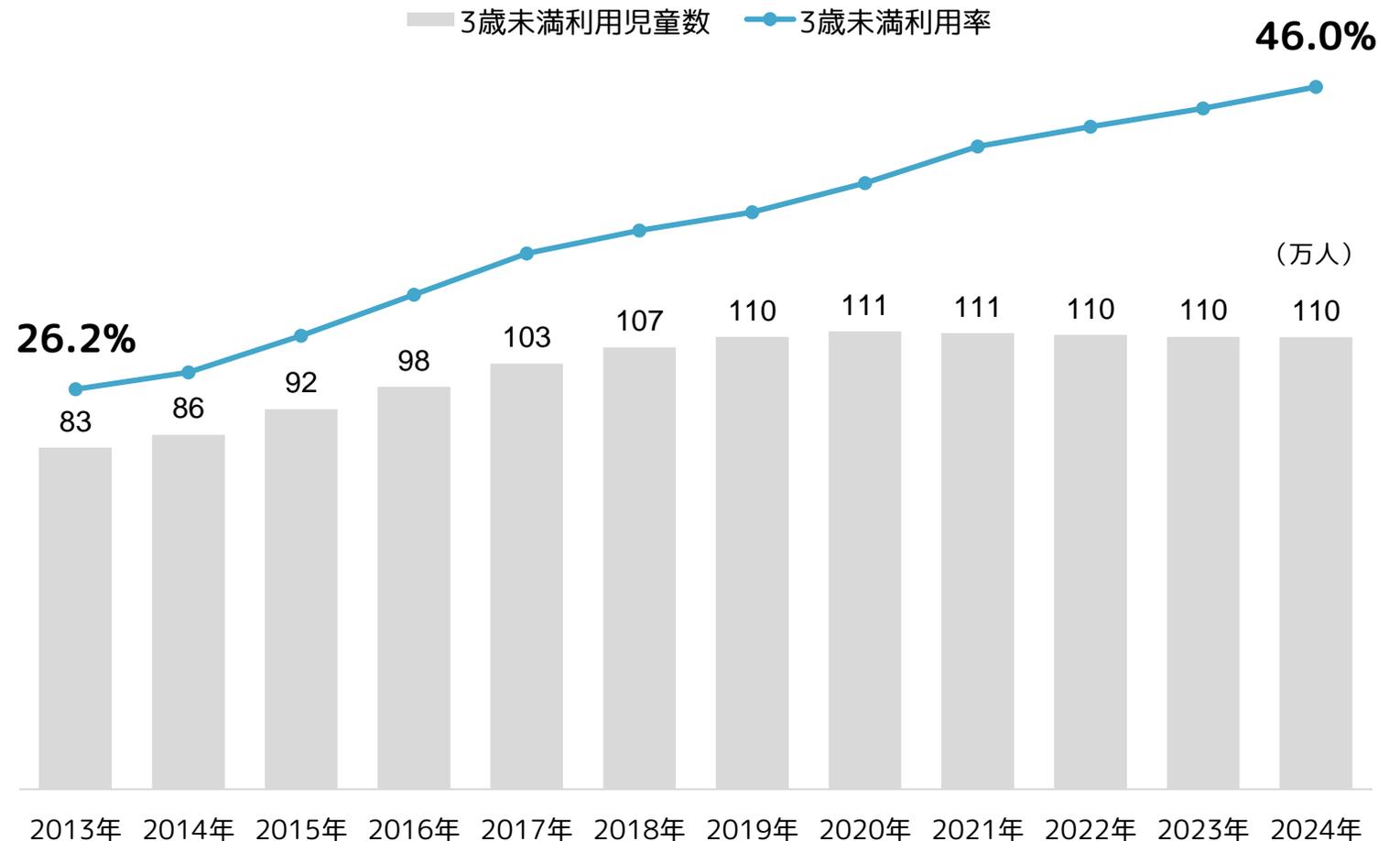
\* TAMは「「時間創出1時間」×「30~34歳 平均時給2,083円※」×「年間日数365日」×「6歳未満の子育て世帯数4,617千世帯※」」で試算（出所：平均時給：令和2年分 民間給与実態統計調査、6歳未満の子育て世帯数：国勢調査 平成27年国勢調査 人口等基本集計）

\*\* SAMは保育関連商材の合算で試算

\*\*\* SOMは「紙おむつ・エプロン、布団、服、水」の保育所内サブスクの合算で試算

## 保育施設の利用児童数と利用率（3歳未満）の推移

(各年4月1日時点)



こどもまんなか  
こども家庭庁

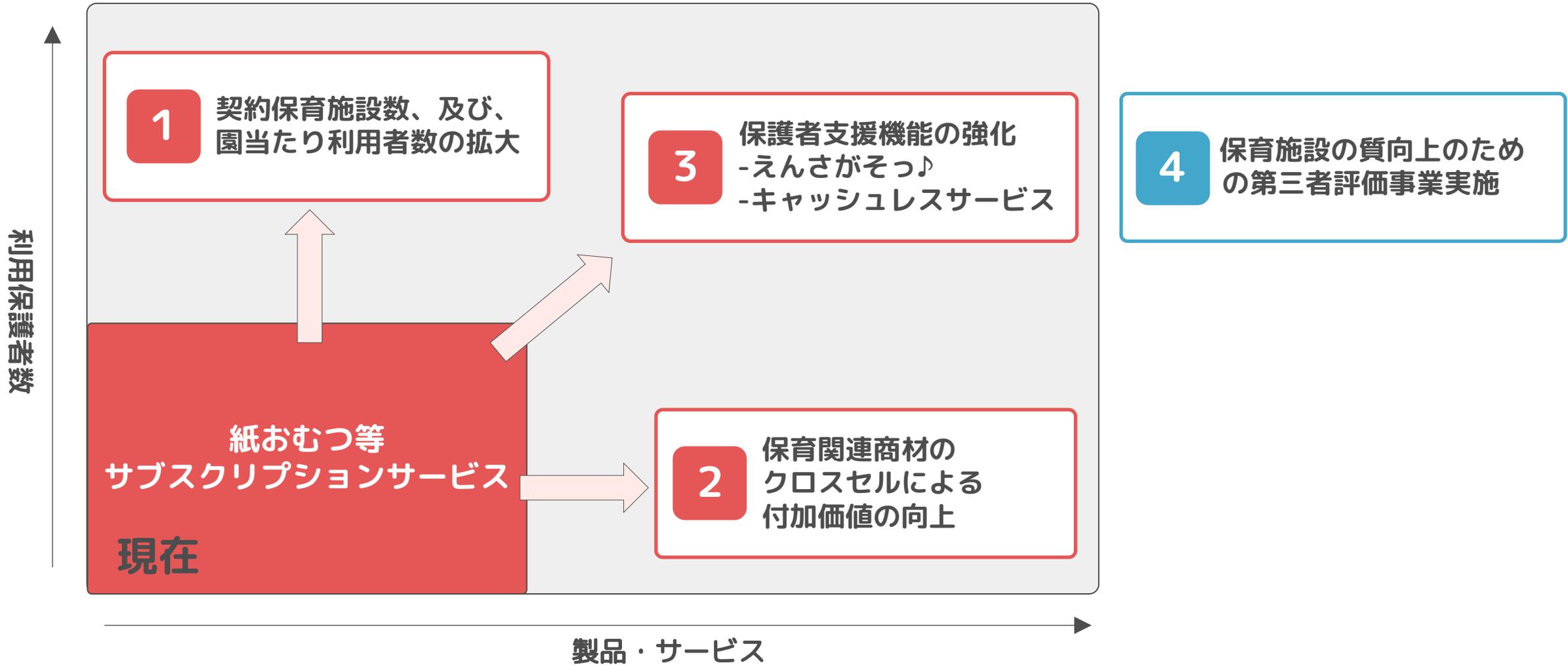
2023/4 こども家庭庁発足

「こども誰でも通園制度」

保護者の育児負担軽減に向けて、  
政府はこれまで以上に後押しする  
姿勢を表明

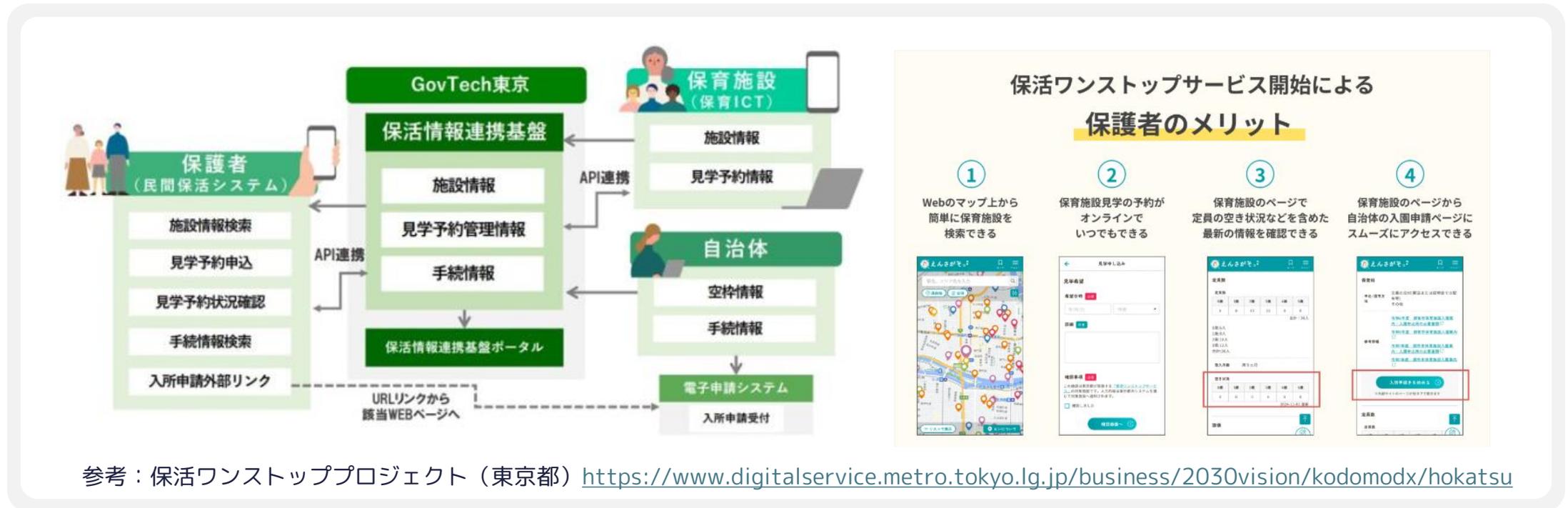
出所：厚生労働省、こども家庭庁HP「保育所等関連状況取りまとめ」より当社作成

## 成長戦略の方針 : 戦略重点 (赤枠=B2C, 青枠=B2B)



## 『保活に係る保護者の負担軽減』を図る

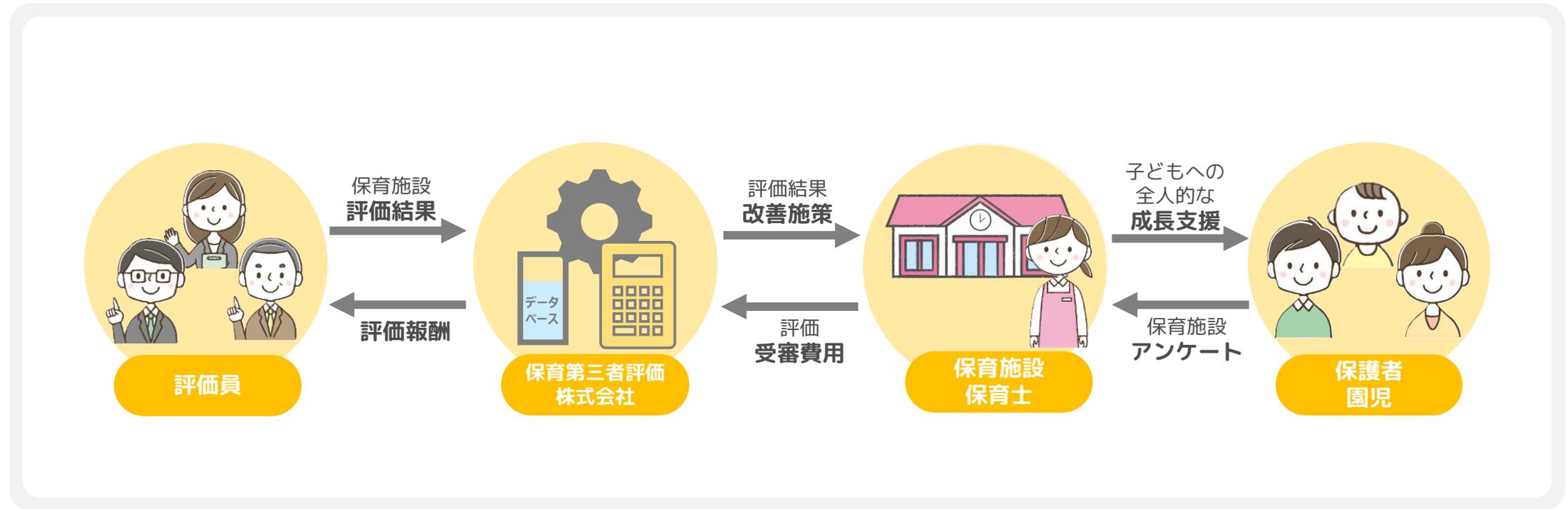
東京都・基礎自治体・保育施設・民間企業が協働した子育てDXの取り組みである「保活ワンストップサービス」に参画しております。当社がサービス提供をする民間保活アプリ「えんさがそっ♪」及び保育施設の保育ICTシステムとつなぐことで、保育施設の検索や園見学の予約、入園申請をオンライン・ワンストップで行えるようにし、保活に係る保護者の負担軽減を図ります。



参考：保活ワンストッププロジェクト（東京都） <https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/business/2030vision/kodomodx/hokatsu>

## 『保育の質向上』を図る

出生人口の減少が進む中、保育施設に対する第三者評価の充実により、保育施設の質向上を図ります。  
「保育施設における福祉サービス第三者評価事業」とは、日本全国の保育施設における福祉サービスをより質の高いものにするために、保育施設に対して公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場からの評価を行うものであります。



# VISION /ビジョン

## すべての人が子育てを楽しい と思える社会

私たちは、子育てにおける古い常識や慣習にとらわれず、  
あるべき姿に近づく努力をし続けます。

その時々課題を解決し、このことに関わるすべての人々が  
子育てを楽しいと思える社会の実現に尽力していきます。





本社所在地 大阪市淀川区西中島6丁目7-8

設立 2018年10月1日

代表者 代表取締役 上野 公嗣

資本金 1億円（2025/2期）

株主構成 (上位5株主) 2025.02末現在		
	Cordial株式会社（代表取締役 資産管理会社）	34.0%
	上野 公嗣	28.7%
	DIMENSION投資事業有限責任組合無限責任組合員	6.0%
	ユニ・チャーム株式会社	5.3%
	ハック大阪投資事業有限責任組合	5.3%

## 事業内容

### 子育て支援事業

（保育施設における紙おむつ等サブスクリプションサービス）

売上高

総資産

従業員数\*

**28.3**億円

**11.5**億円

**93**名

（2025/2期）

（2025/2）

\*従業員数は取締役を除き、正社員・アルバイト・パートの休職者を含む人員数。

年	月	内 容
2012	5	創業 <b>株式会社S・S・M</b> （現：ぬくもりのおうち保育株式会社）設立
2018	7	事業持株会社体制への移行し、SSMotherホールディングス株式会社を設立
	10	ぬくもりのおうち保育株式会社から <b>BABY JOB株式会社</b> を分割し新設
2019	7	ユニ・チャーム株式会社との協働による紙おむつ・おしりふきのサブスクリプションサービス「 <b>手ぶら登園</b> 」事業をリリース
2020	5	奈良県三宅町と子育て連携協定を締結。自治体が運営する公立保育施設に対して「手ぶら登園」を初導入
2021	1	SSMotherホールディングス株式会社及びぬくもりのおうち保育株式会社を子会社化
	3	SSMotherホールディングス株式会社を吸収合併
2022	4	花王株式会社との協働による紙おむつ・おしりふきのサブスクリプションサービス「 <b>Kao すまいる登園</b> 」事業をリリース
	6	保育施設と保護者をつなぐ情報サイト「 <b>えんさがそっ♪</b> 」事業をリリース
2023	1	ぬくもりのおうち保育株式会社を株式会社みんなの未来計画に売却
2024	8	株式会社セイノー商事との協働による紙おむつ・おしりふきのサブスクリプションサービス「 <b>にこにこ登園</b> 」事業をリリース
	9	保育施設向けキャッシュレスサービス「 <b>誰でも決済</b> 」事業をリリース
	12	東京証券取引所TOKYO PRO Marketに株式を上場

代表取締役社長  
上野 公嗣



取締役/管理本部長  
灘 広樹



取締役/事業本部長  
脇 実弘



社外取締役  
前田 効多郎



社外取締役（監査等委員）  
小田切 智美



社外取締役（監査等委員）  
和氣 良浩



社外取締役（監査等委員）  
黒坂 卓司



本資料には、発表日現在における当社が入手可能な情報並びに将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれていますが、これらの将来に関する記述は、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズの変化、他社との競合、法規制の変更、その他の様々な要因により、大きく差異が発生する可能性があります。当社は、本資料に含まれるいかなる情報について、今後生じる事象に基づき更新する義務を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先  
BABY JOB株式会社 IR担当  
Email : [bj\\_ir@ssmother.com](mailto:bj_ir@ssmother.com)